

2023.04.11.tuesday

学修・教育開発センター（CRED）



スタートアップセミナー自主自律開講のご挨拶



宮本 康司

自校教育科目部会部会長

スタートアップセミナー自主自律は、大学における「自校教育」に位置付けられます。大学にはそれぞれ歴史・特徴があり、いわば個性があります。自校教育の目標のひとつは、学生が自身の所属する大学について、建学の精神や歴史、現在の社会的な役割などを知ることにあります。

本学板橋キャンパスで開講しているスタートアップセミナー自主自律は、家政学部・栄養学部・児童学部・人文学部の1年生全員が対象です。学科横断でクラスを編成し、授業の1クラスには各学科からの学生40名が集まります。異なる学科に入学した5名がひとつのチームを作り、率直に発言し、対立する意見にも耳を傾け、協同学習を通して目標を

共有していけるよう、授業を組み立てています。本年度は狭山キャンパスにおいても自校教育の統合化がすすみます。

スタートアップセミナー自主自律では、教員が学生へ知識を伝達することが主眼ではありません。学生自身が、所属する大学の歴史と特徴を立体的に体感し、それらと自身、仲間と自身との想いを共鳴させ、将来社会を担う自主自律の姿勢を身に付けていくことが、授業科目としての本当の目的です。

そしてこの授業科目は、学生が自身の将来を構想する根幹になることはもとより、教職員にとっても、本学の特徴と社会における役割を再認識することにつながります。ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

4月に実施する授業の内容を紹介します。

今年度のスタートアップセミナー自主自律の授業は、対面形式で実施いたします。本授業は『導入・歴史・社会・振り返り』の4つのパートから構成されており、4月は以下の授業計画となっております。

- 13日／授業初回となる第1回（導入パート）では、協同学習の理論と技法を学びます。この授業は、学科を超えた5名でチームを作り、全14回を協同学習により進めることになるので、対話の姿勢（発言と傾聴）がこの授業の基本であることを共有します。
- 20日／第2回（歴史パート）からは、本学の歴史を学びます。ここでポイントとなるのは、教員が知識を学生に与える講義形式の授業ではなく、学生がグループ活動を通じて本学の歴史について学ぶ協同学習の形式をとっていることです。歴史パート初回となる第2回では、本学が和洋裁縫縫習所として開学した時期に関わる文献を題材として、共通のテーマを役割分担して調べ・説明し合うジグソー法を使って学びを深めます。

- 27日／第3回（歴史パート）では、本学が4年制の大学として開学した時期の文献を題材として、第2回授業同様、ジグソー法を使って学びを深めます。

今後の広報誌で、授業の様子を紹介する予定ですので、是非、ご一読いただけますと幸いです。

📢 お知らせ

全クラスで授業見学が可能です。

- ✓ スタートアップセミナー自主自律は全32クラスを授業公開の対象としております。
- ✓ 詳細は4月教授会およびメールにてご案内いたしました通りです。
- ✓ 教室などを知りたいなどのご要望があれば下記問い合わせ先までご連絡ください。

スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館1階）

E-mail : startup@tokyo-kasei.ac.jp